

学 校 紹 介

五ヶ瀬町立三ヶ所小学校 宇田津 浩一

1 はじめに

本校は、1875年創立、今年145年目を迎えた歴史と伝統のある学校である。校内には、樹齢80余年の枝垂れ桜があり、九州各県から毎年撮影に来校する写真家もいる。学校は町の中心地に位置し、役場、町立病院、歯科診療所、郵便局、JA支所、銀行、赤谷商店街、町唯一の中学校などがある。現在の児童数は60名で、単式学級編制において日常的に少人数指導が実施でき、きめ細かな教育が実践できる素晴らしい教育環境にある。



【体育館の北側にある枝垂れ桜】

2 本校の特色ある取組

(1) G授業（4つの小学校の集合学習）

授業内容によっては、大人数の方が効果が高い授業が実施できず、集団による意見の交換や切磋琢磨し合う活動が不十分になる状況もある。一学校単位で見ると少人数学級だが、町内全学校を集めると大人数にできるので、これを活用して、教科单元ごと、教科内容ごとに各学校における少人数授業とG授業による大人数授業を効率よく行い、通常の授業以上の学習効果を生み出している。G授業が各学年年間8回以上も実施できるのは、10年前から練り上げられてきたGプランを検証する各学年作業部会と各学校間の移動がスクールバスで20分程度という条件等が揃っているからである。Gプランは、9年間を見通した系統的・発展的な豊かな体験活動を盛り込んで構成しており、将来、社会を変える力「社会力」を発揮し、五ヶ瀬に貢献できる人材づくりを目指して、五ヶ瀬のよさ（自然・産業・文化等）を知り、それらの学びを生かして「ともに学び合い、ふれあい、高め合う」学習活動を大切にしている。

(2) 「早寝・早起き・朝大豆運動」

五ヶ瀬町家庭教育五ヶ条の根底に流れる非認知能力の育成のためには健全な心身の育成が不可欠である。そこで、児童が意識的に、自ら規則正しい生活習慣を確立していけるように様々な取組を行っている。例えば、「早寝・早起き・朝大豆」というキャッチコピーやイメージキャラクターをつくったり、家庭と連携して「すこやか睡眠表」に睡眠時刻や時間、朝食摂食、メディア視聴時間を記録したりする取組を行っている。

(3) 「読解力（リーディング・スキル）向上」を意識した授業づくり

読解力は、学習内容の理解度に大きな影響を与えるものであり、スキルは、発揮することで磨かれるという基本的な考え方をもとに、授業の中で児童の読解力を発揮する場面を意識してつくる授業づくりに努めている。この取組は、主体的で対話的な深い学びを実現させ、ひいては、確かな学力の定着につながるものと考えている。

3 おわりに

五ヶ瀬でこそ優位に展開できる地域創造・循環型教育システム「五ヶ瀬教育グランドビジョン」の創造・実現を目指し、小規模校の特性を活かした教育と魅力的な教育環境づくりを進めている。この取組が、来るべきSociety5.0時代に柔軟に対応できる人材育成に寄与するものであることを町民と共有し、一体となった取組を推進していきたい。

早寝・早起き・朝大豆

